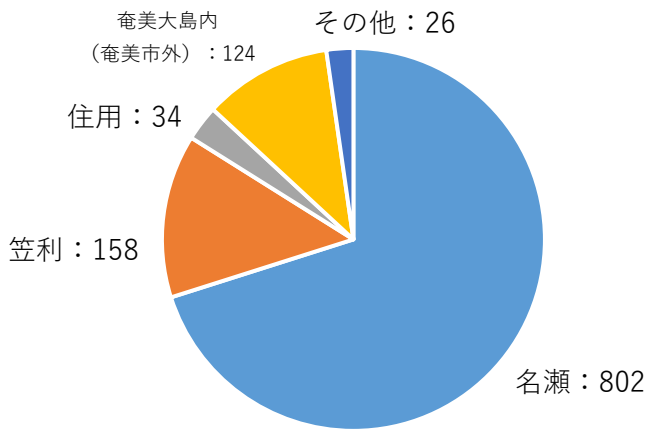
【集計結果】奄美市「食と農の総合戦略」策定に向けたアンケート

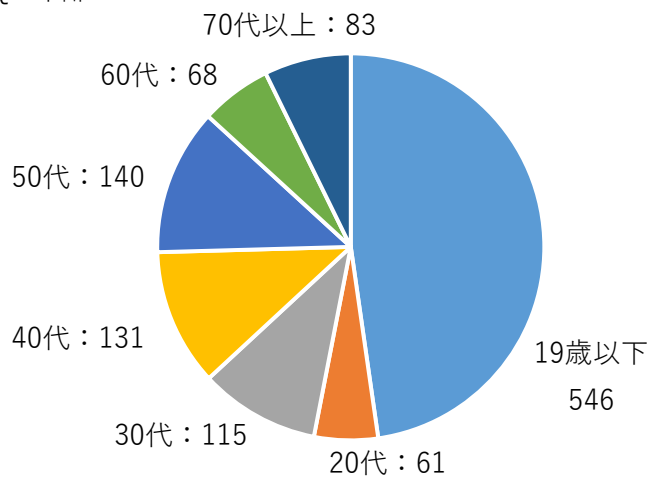
実施期間　令和7年8月14日～10月30日
回答数　　1,144件

Q1.お住まいの地区



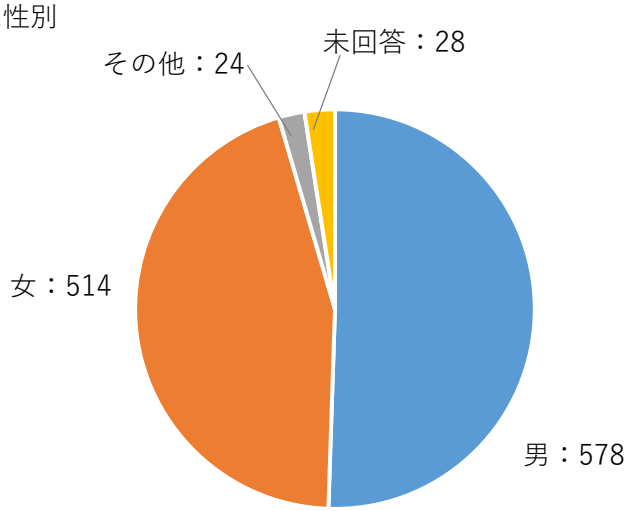
項目	回答数	割合
名瀬	802	70.1%
笠利	158	13.8%
住用	34	3.0%
奄美大島内（奄美市外）	124	10.8%
その他	26	2.3%
合計	1,144	

Q2.年齢



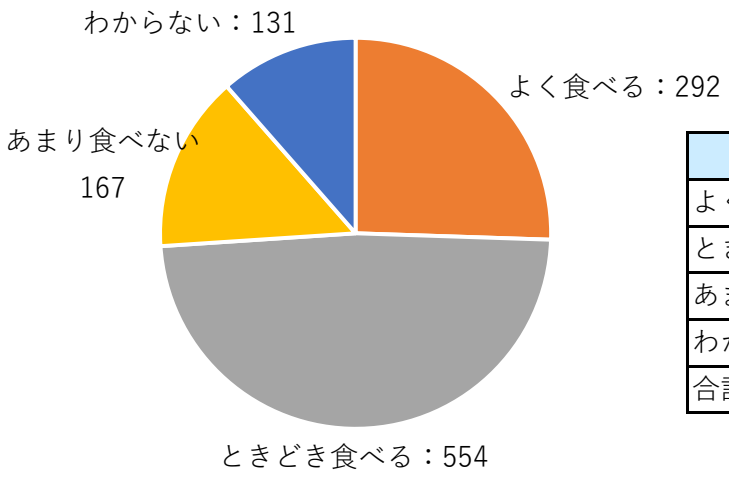
項目	回答数	割合
１９歳以下	546	47.7%
２０代	61	5.3%
３０代	115	10.1%
４０代	131	11.5%
５０代	140	12.2%
６０代	68	5.9%
７０代以上	83	7.3%
合計	1,144	

Q3.性別



項目	回答数	割合
男	578	50.5%
女	514	44.9%
その他	24	2.1%
未回答	28	2.4%
合計	1,144	

Q4.日ごろ、奄美産農産物や水産物をどれくらい食べていますか。



項目	回答数	割合
よく食べる	292	25.5%
ときどき食べる	554	48.4%
あまり食べない	167	14.6%
わからない	131	11.5%
合計	1,144	

Q5.奄美の食の魅力はどこにあると思いますか。（複数回答可）

項目	回答数	割合
1.郷土料理（鶏飯など）	946	82.7%
2.新鮮さ	437	38.2%
3.安全・安心	229	20.0%
4.季節感	353	30.9%
5.文化・歴史	454	39.7%
6.価格	71	6.2%
7.自然とのつながり	439	38.4%
8.その他	18	1.6%

※「割合」は回答者数1,144件に対する数値を記載。「8.その他」はP13に記載。

Q6.奄美の農業・漁業の魅力はどこにあると思いますか。（複数回答可）

項目	回答数	割合
1.島特有の農産物や水産物	720	62.9%
2.新鮮でおいしい食材	597	52.2%
3.安心・安全な生産環境	198	17.3%
4.季節ごとの味わい	426	37.2%
5.自然や環境とのつながり	335	29.3%
6.島の文化や伝統	588	51.4%
7.自然環境と共存した産業	208	18.2%
8.伝統的な技術や知恵	284	24.8%
9.将来性や成長の可能性がある産業	89	7.8%
10.その他	10	0.9%

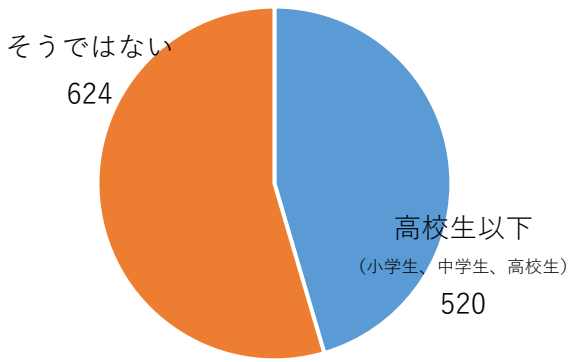
※「割合」は回答者数1,144件に対する数値を記載。「10.その他」はP13に記載。

Q7.将来にわたって、奄美の食や農業・漁業を守っていくために必要だと思うことは何ですか。
（複数回答可）

項目	回答数	割合
1.後継者の育成や人材確保	927	81.0%
2.収入や働く環境の改善	706	61.7%
3.島内での消費拡大や販路の確保	428	37.4%
4.島外や海外への販路拡大	419	36.6%
5.自然環境や資源の保全	369	32.3%
6.生産技術や加工技術の向上	341	29.8%
7.伝統的な知恵や文化の継承	437	38.2%
8.観光や教育との連携	363	31.7%
9.その他	20	1.7%

※「割合」は回答者数1,144件に対する数値を記載。「9.その他」はP14に記載。

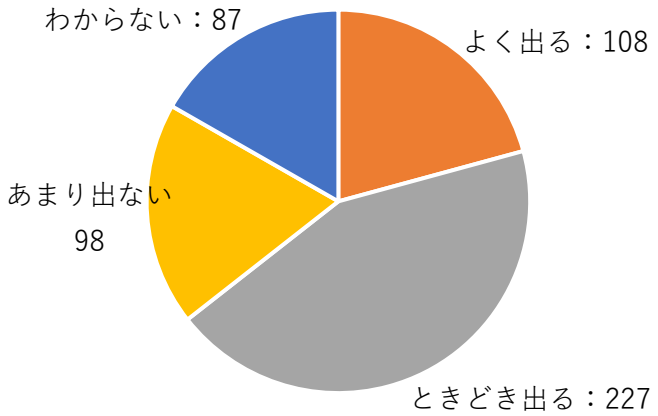
Q8.あなたは高校生以下（小学生、中学生、高校生）ですか？



項目	回答数	割合
高校生以下（小学生、中学生、高校生）	520	45.5%
そうではない	624	54.5%
合計	1,144	

Q9～Q12は、Q8で「高校生以下（小学生、中学生、高校生）」と回答した520名のみ。

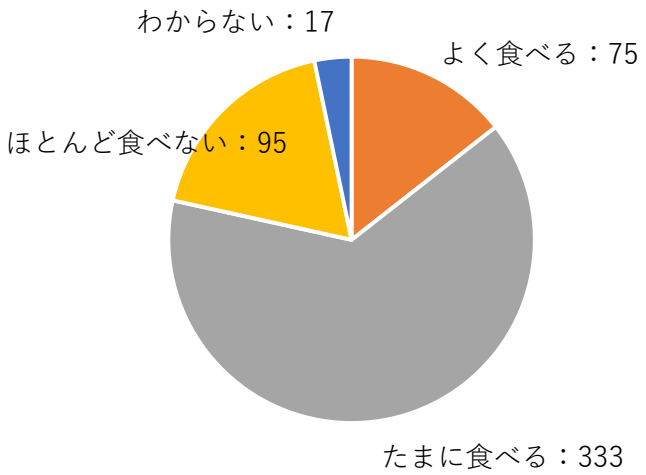
Q9.学校（小学校～高校）の給食やお弁当で、地元の食材や郷土料理が使われていると思いますか。



項目	回答数	割合
よく出る	108	20.8%
ときどき出る	227	43.7%
あまり出ない	98	18.8%
わからない	87	16.7%
合計	520	

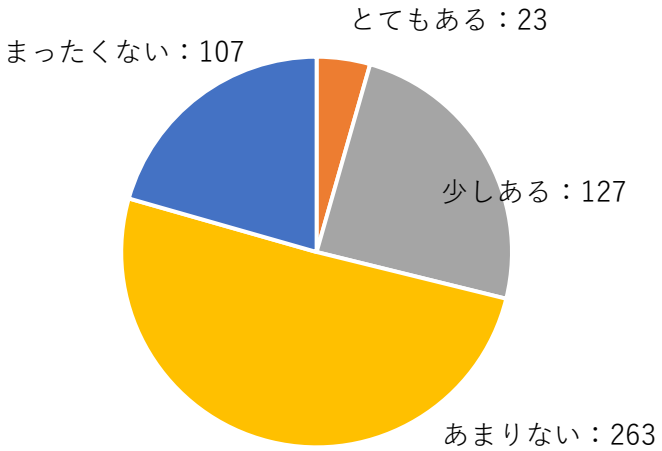
Q9～Q12は、Q8で「高校生以下（小学生、中学生、高校生）」と回答した520名のみ。

Q10.奄美の伝統料理（例：鶏飯、油ソーメンなど）をよく食べますか。



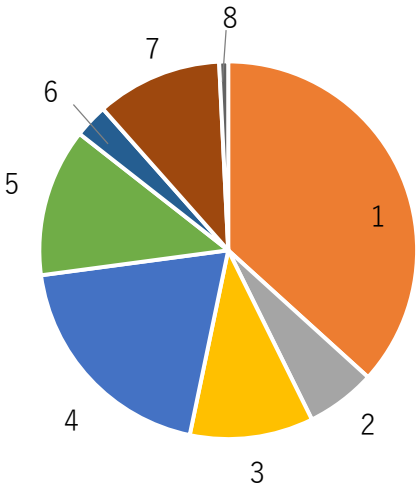
項目	回答数	割合
よく食べる	75	14.4%
たまに食べる	333	64.0%
ほとんど食べない	95	18.3%
わからない	17	3.3%
合計	520	

Q11.将来、奄美の農業・漁業や食文化に関わる仕事や活動に興味はありますか。



項目	回答数	割合
とてもある	23	4.4%
少しある	127	24.4%
あまりない	263	50.6%
まったくない	107	20.6%
合計	520	

Q12.奄美の「食」や「自然」、あるいは「農業・漁業」と関わる学習や体験で特に印象に残っていることを一つ教えてください。



項目	回答数	割合
1.学校での授業や校外学習	191	36.7%
2.農作業や漁業の体験学習	31	6.0%
3.家族や親戚の仕事を手伝った経験	55	10.6%
4.地域の行事や祭りでの体験	102	19.6%
5.地元の食材を使った料理作り	66	12.7%
6.島外の人との交流や発表活動	15	2.9%
7.特に印象に残っていることはない	56	10.8%
8.その他	4	0.8%
合計	520	

※「8.その他」はP15に記載。

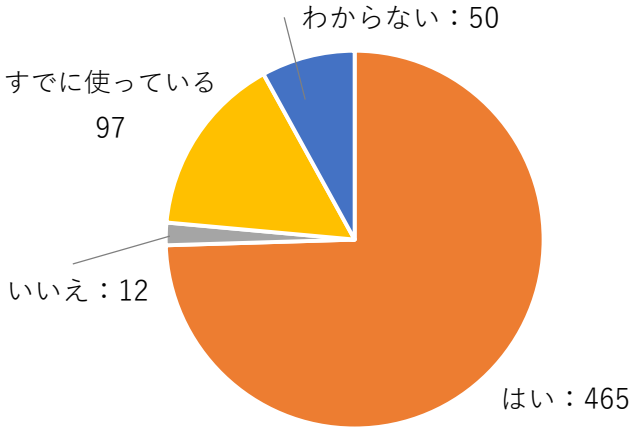
Q13～Q16は、Q8で「高校生以下ではない」と回答した624名のみ。

Q13.あなたやご家族は、地元産の農産物・水産物をどこで購入することが多いですか。
（複数回答可）

項目	回答数	割合
1.スーパー	520	83.3%
2.農産物直売所	243	38.9%
3.インターネット	5	0.8%
4.知り合いの農家（漁師）から	168	26.9%
5.八百屋・魚屋	131	21.0%
6.その他	32	5.1%

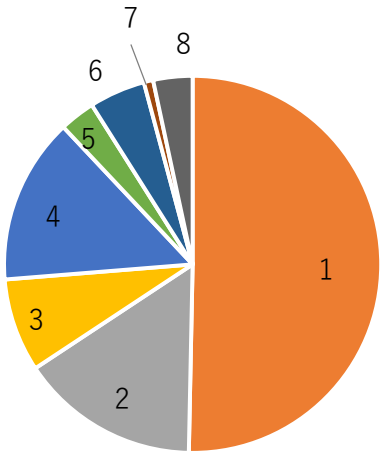
※「割合」は回答者数624件に対する数値を記載。「6.その他」はP15に記載。

Q14.地元産の食材をもっと使いたいと思いますか。



項目	回答数	割合
はい	465	74.5%
いいえ	12	1.9%
すでに使っている	97	15.5%
わからない	50	8.0%
合計	624	

Q15.奄美市の農業・漁業や食文化について特に課題と思うことを一つお答えください。

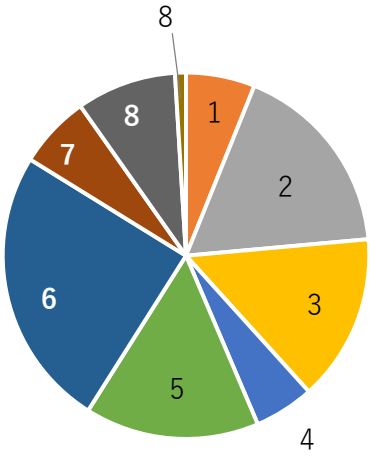


項目	回答数	割合
1.担い手・後継者不足・高齢化	314	50.3%
2.台風・気候変動など自然災害の影響	96	15.4%
3.販路が限られている	50	8.0%
4.生産・流通コスト	89	14.3%
5.伝統的な食文化の継承	19	3.0%
6.観光との連携が不十分	30	4.8%
7.特に課題は感じていない	5	0.8%
8.その他	21	3.4%
合計	624	

※「8.その他」はP16に記載。

Q13～Q16は、Q8で「高校生以下ではない」と回答した624名のみ。

Q16.今後、奄美の農業・漁業や食文化を活かして特にやってみたいことを一つお答えください。



項目	回答数	割合
1.農業・漁業に関わる仕事をしたい	38	6.1%
2.家庭菜園や釣りなどを楽しみたい	109	17.5%
3.地元の食材を使って料理や加工品を作ってみたい	92	14.7%
4.観光や体験イベントに参加したい	33	5.3%
5.奄美の食文化や伝統料理を学びたい・伝えたい	96	15.4%
6.地元の食材をもっと買って食べたい	155	24.8%
7.子どもや若い世代に伝える活動をしたい	40	6.4%
8.特に考えていない	55	8.8%
9.その他	6	1.0%
合計	624	

Q17.その他、ご意見等ございましたらご記入ください（自由意見）。

No.	自由意見
1	質問5と6の内容が類似しているため、変更してみてはどうでしょうか
2	もっと奄美の良さをみんなに伝えていきたい！
3	祖母の島料理が1番好きだから、受け継ぎたい！！
4	島の伝統や文化を守っていき、これからも郷土料理などを食べたいと思う
5	野菜とか水産物の値段をもっと値下げしてほしい
6	収入が低い
7	収入が低い
8	料理の中で鶏飯が一番好きです
9	とりあえずトビンニャをメインにしようか
10	奄美に一番適しているのは薬草ではないかと常日頃思います。奄美でそんな会社を作ってほしいです。
11	島で取れた食材があまり店に出ていないのが残念です。
12	食と睡眠、大切なのはよくわかっているけど、食は関心をもって調理しますが、どうしても睡眠が不足していると思う。認知症の心配もあります。朝食をとることが夜の睡眠につながる大切さを学びました。また奄美の伝統的な食べ物をもっと勉強し、子供たちにつないでいきたい。
13	自身は自家栽培で野菜を賄っている。農家では食べていけないと耳にする。若い人が生活できる産業になってほしいと思う。
14	特に地産地消の安心安全の食材がとても大事だと思います。これまで以上に奄美の食と農に関心をもって心がけてまいります。
15	家庭菜園を楽しみながら無農薬栽培をやっております。
16	地元の食文化を継承するため、研修会や調理実習等の機会を増やせたらと思います。（受講したいです）
17	・もっと島の農産物や水産物を買いたいと思いますが、手に入りにくい。（スーパーは限られているし、水産物も限られた店に買いに行くのが大変です。）　・新鮮な野菜や魚（その他生産物）が手に入るところがあればよい。例えば→ほしい人や野菜を作っている人が買っていただける場所があれば、作る励みにもなり、交流の場にもなるのでは。（月に1,2回とか、場所も変えるとか）たくさんの方々が利用できるようになれば良い。
18	私は専業農家です。毎年変動する自然環境に適応しながら農作業をする事は大変ですが、試行錯誤し得られた成果はやりがいがあります。なんといっても奄美の自然を感じながら農作業する日々は、何物にも変え難い充実感があります。最近では農地取得の下限面積（これまで奄美市は２０a)の撤廃されたことにより、自家消費ながら農業にチャレンジする方々が増えてきています。それは経済的な数字には表れにくいものですが、農業に関心がある方々が増えてきているということです。小規模ですが、耕作放棄地の解消にも繋がっています。行政は農家の大規模集約に舵を切っていますが、奄美大島の農地要件では別の目線でオリジナルな農村形成が必要かもしれません。誰もが気軽に農作業ができる環境と出荷体制の強化、いつもそばに畑と採れたての農海産物がある生活が理想です。。
19	大島内での食料自給率を上げていきたい。島内で90％以上まかなえるパワーは絶対あるので。。。

Q17.その他、ご意見等ございましたらご記入ください（自由意見）。

No.	自由意見
20	クロウサギで困っています。被害が園内で広がっておりタンカン（成木）が枯れていくと思います。早めに対策（補助金等）をしてほしいです。
21	笠利地区に、味の郷のような地場産の道の駅的な施設を、東側（東シナ海）にもあるといいと思う。（加工用、地場産野菜果樹販売所）
22	移住して奄美独自の文化、食など奥深くて興味があります。もっとイベントや勉強できる場があれば嬉しいです。
23	スーパー等での買い物が多いのでほとんどが移入物であることから、直売所の品数の充実、スーパーでの地元野菜のコーナーの充実を図る必要があると思う。
24	私はさつまいもを育ててみたいのですが、周りでいないので学びたいです。そんな場所があればと思います
25	奄美近海の魚がもっと店頭に並ぶとうれしい。
26	現在、生活研究グループで郷土料理の学習、伝承活動をしていますが、先人からの技術をいろいろ学んで、次世代へ多くの方に広がっていくとよいと思います。
27	行事食を伝える側になりたくて、「シマじゅうりくいぶ会」を６名で立ち上げ活動しています。子供世代よりも今は親の世代が行事食について触れる機会がなくなっていて、習う機会を探している方が多いと感じます。農家さんは収穫時期は忙しくてなかなかイベントをすることは難しいと思いますが、生産も含めて何か皆が幸せになれるようなことができるといいですね。
28	・地場産の野菜をもっと多くの人に知ってもらい、料理方法、加工品の作り方を次世代の方に伝える機会を持ちたい。・子供たちにも野菜作り体験してほしい。
29	普段，タイヨーやイオンなどのスーパーで買い物をすることが多く，魚介は奄美産のものを目にすることはありますが，野菜については島外から入荷したものが多く島内産の野菜はほとんど目にしたことがありません。島内でどのような野菜が栽培できるのか分かっていないため認識が誤っていたら申し訳ないのですが，もっとスーパーで販売していただけると，購入の機会も増え嬉しく思います。
30	観光や転勤等で島に滞在している人たちも参加できるような取組があると良いと思いました。
31	スーパーで売られている魚も，一人で食べるには量があると感じて手が伸びないことがあるので，奄美市内にある回転寿司（まんてん，いっちょう）等で，もっと地元産の魚を食べられるようになれば嬉しいと思いました。
32	奄美の農林水産物を使ったご当地料理をもっと開発したほうがよい。鶏飯を超えるような料理
33	奄美市の農業・漁業や食文化について特に課題と思うことを一つお答えください。 ※奄美の農業、農家、漁業の支援について、新規就農者ばかり優遇しすぎ感じがある。既存の農家への補助、援助、給付金など資金繰りに苦労し、止むなく廃業の窮地に立たされている農家さんを多く知っている。携帯電話みたいに乗換割や新規契約者みたいに、新規就農者だけが得をしているように感じる。新規就農者はあっさり申請が通って、既存農家には難癖つけて給付、援助しないとよく聞く話。本気で奄美の農業、漁業守るつもりがあるなら、昔から島に住んで農業、漁業を愛している方々にもっと目を向けるべき。内地からの新しい知識、経験、戦略など勿論大事だが島の在来農家の伝統的な農業も島の大事な財産と肝に銘じてほしい。

Q17.その他、ご意見等ございましたらご記入ください（自由意見）。

No.	自由意見
34	奄美のこれからを担う次世代たちが心平穏に住みやすく、人と人のつながり、暮らしと自然の繋がりを誇りに思いながら過ごせる島にしていきましょう。
35	消費税が無くなる事が最善と思うが、国策なので仕方がない。第一次産業従事者への課税率を緩和して、利益があがりやすくしたらどうだろう。島は、機械の劣化も速く新規購入費や、修理費などの負担が高いと思う。
36	学校で働いていますが、農業や漁業に魅力を感じている児童が少ないように感じます。私たちの暮らしを一番に支えているのが農業や漁業といった一次産業であることを、子どもたちに伝えていかなければと考えています。
37	担い手不足や島の環境にあった農作物の生産にはある程度限りがあると思いますが、スーパーに並んでいる農産物に島外産、鹿児島県産ではないものが多く、地産地消できていないのがさみしく感じます。台風で島は当たっていないのに船の欠航により農産物がすぐになくなってしまう状況を見て、島の農産物の少なさを顕著に感じました。農家の方の所得が高くなり、継承していく方、新規就農する方が増えたらうれしく思いますし、応援したいです。
38	市が「食と農の総合戦略」を策定して何を進めていきたいのかイメージがわかない。リンクをつけるなどもう少し説明が必要では？次世代へ豊かな食と農をつなげていくための道しるべとなるもの・・・とありますが、このアンケートがどう関連しているのかがわかりずらいです。
39	他市は東京駅近くの駅ビルや有楽町、新橋、各地のアンテナショップ、最近は都内ではなく、埼玉、千葉、群馬など通勤圏内の駅ナカなどでの農産物や特産品販売会開催の案内を多くみます。奄美からの運賃、また配送費、人員的なことなどなどで難しいのかもしれない。でも、季節の果物であったり、黒砂糖を使いスイーツに仕立てたわけでもない、シンプルにただの黒糖の塊を試食に差し上げても大変喜ばれます。奄美の農産物のポテンシャルは高い、素朴でも素材の良さで受け入れられると思います。頑張って売り込みましょう！！
40	離島にとって食材の確保　備蓄は重要　冷凍やインスタントだけでの備蓄だけでは無く地場産の長期保存をでからように
41	屋仁のターマンなどは狭い地域で生産されている農産物で対地元なので、その良さや魅力が島外にはあまり知られていない。芋類としてジャガイモ、サツマイモが全国的に認知度が高いがそれに対抗しうる第三の芋として、ヤマイモやサトイモよりも可能性があると思うので、地域限定せず対島外、それか対県外として県で生産しても特産品の価値がありそうですので、もっともっとその魅力を広めてほしいなあ。
42	兼業での農業や漁業を推進したらどうでしょうか
43	このアンケートがどのように集計されて、どう「食と農の総合戦略」反映されるのか、興味深く見守りたいと思います。ついでにＱ１７(理由)→行政が行う「住民参加型ワークショップ」というスタイル、既に形骸化して「住民と共に作り上げました！」という単なる言い訳イベントにしかならないんだろうなあ、と思っているので。（このアンケートも）
44	設問の一部は農産物　水産物を分けたほうが良かったと思いました。また、設問4のどのくらい食べているかについても、毎食、毎日、週に2～3回という回答のほうが私は答えやすいと思いました。

Q17.その他、ご意見等ございましたらご記入ください（自由意見）。

No.	自由意見
45	希望だけいえば、台風等でスーパー等から食材が消え、レトルトに依存しがちだか、ある程度は島内のものでまかなえる様にして欲しい。
46	せっかくいい物を作っても状態良く出す為にめストックする施設の拡充が必要
47	是非頑張ってください。応援しております。
48	野菜に関して、大手スーパーとの契約農家があるかどうかわかりませんが、そうなるといいのかも。（カボチャやジャガイモなど一般的な野菜が主流になるのか？）そのためには、基盤整備（畑の面積拡大・かんがい排水）は最も重要ですので進めていただきたい。
49	従事者としては、農業・漁業ともに、人並みの生活ができる程度の所得がなければ持続可能な産業となりえない。質の向上のみを追いかけても、販売戦略がなければ売れない。まずは、販売戦略を立て、販売先・販売量の確保をしたうえで生産量増加につなげていくことが大切であると考える。儲かる産業となれば、人は必然的についてくる。法人も同様であると考える。
50	以前、水産関係の業務担当でした。後継者不足・担い手不足・高齢化の問題を感じました。多方面から考えないといけない問題だと思います。『水産まつり』の様なイベント開催等必要かなと考えます。
51	後継者が育つように、収入や安心安全にできる環境を整えていけるようみんなで協力していきたいです。
52	①地元産は県外から入ってくる野菜等と比べて高い、昨今の物価高の影響で更に購入を控えることが多い。②規格外でお店に出せない食材はどこにいっているのか気になる。規格外もお店に出して売ることも重要ではないか。③小学校や中学校で農業体験学習等を行っているのか気になる。すでに実施しているかもしれないが情報が掲載されていない印象がある。
53	個人的にですが，農業や漁業に従事する方の収入改善が大切かと思います。
54	刺身が大好きです。漁師さんに感謝していただいています。
55	移住相談窓口を担当した時、移住希望者には農業に関心のある方が多いなと感じました。中には農業にかなりの知識がある方もおられました。農家の継承や農地の貸出など、就農機会が得やすい仕組みがあると良いと思いました。
56	鹿児島県の「かごしまのさかな」への認定。千葉県では「ちば旬鮮図鑑」という県が農水畜林産物を紹介しています。温暖な気候を生かしてパッションフルーツ生産にも千葉県が力を入れ始めています。千葉は私の地元なので農業に力を入れていて嬉しいですが、移住した奄美のパッションフルーツなど南国農産物も全国に流通してほしいです！千葉は東京に近いので流通面では奄美は大変かと思いますが、せっかくの南国亜熱帯の奄美の農産物（本場の農産物）を大都市圏の人にも味わってほしいです。
57	近年の気候変動に伴い、奄美で生産可能な野菜を新しく考えていけたらと思います。
58	住用に関しては、もう壊滅的な印象です。本来であれば稲作できるはずです。世の中を見れば米は必要で、世界遺産ブランドの米を出して、地元民と内地からの外貨を稼ぐことができる等考えられます。そして、奄美大島の人は甘いものを食べる方も多く糖尿病や虫歯が多いと聞きます。今は添加物が病気の原因とも言われております。食と農が奄美大島の人口にも関係するかと思うので、戦略をしっかり立てて頂きたいです。

Q17.その他、ご意見等ございましたらご記入ください（自由意見）。

No.	自由意見
59	農業や漁業に携わるかたのおかげで市民の生活は守られているので，農業・漁業関係者の労働環境や収入改善は大事と思います。問題が多く大変と思いますが頑張ってください
60	食事は好きだけど料理は出来る限りやりたくないので、島内のカフェやレストラン等で味わいたい
61	農地特区による株式会社参入
62	農業、漁業ともに担い手不足、農機具や漁船購入などについて、補助金制度などは考えられないか。
63	島の食材を使った料理やお菓子たどのイベント等の企画があれば。プロでなく一般のひとが作れる家庭料理の。
64	シラヒゲウニやとびにんにゃが、採れなくなってます。また、とれるように藻場の造成に力を入れて欲しい。
65	環境、人にやさしいオーガニックな作物作りに力を入れて欲しい。
66	学校給食で伝統野菜を使用して欲しい
67	奄美のブランド価値向上に「奄美ならではの食と農」は欠かせないと考えてます。将来、奄美が日本でも有数のブランド、世界でも有数のブランドとなることに貢献したいです！
68	島の野菜や果物が購入できる場所がたくさんあればいいと思う。無人販売が少なくなって寂しいです。今年は笠利の西瓜を求めて回ったけど買えませんでした。
69	個人店は特にSNSなどを通じて農作物の入荷情報などをもっと発信してほしい。
70	温暖化による気候危機における｢食｣の問題と、｢奄美の産業おこし｣として一次産業への支援を1番の経済政策として取り組む必要があると思う。この地域の特性についての専門家、農・漁業従事者、行政、市民、その他機関が一体となって取り組まなければならないと思う。
71	耕作放棄地の活用を推進する事業を立ち上げて　農業をもっと活性化するべき
72	農業においては集落連携での農業事業化促進。漁業においては陸上での養殖事業の促進。を期待している。特に養殖事業においては大学との連携における課外講座研修体験などを行うことによる交流人口の増加。
73	大阪と奄美で二拠点生活しています。奄美で行っている農業などのお手伝いをしたい思っていますが、何から行動すれば良いかを知りたいです。
74	他の地域に比べて、都会や海外への売り込み方が下手、遅い、方法が古い。せっかく外から来てくれた移住者の人たちが変えようと動こうとしてもストップをかけているのは島の人。だから若い人は残らない、凝り固まった考え方の同じような人たちしか島にはいない。本気で変わろうとしている感じられない。
75	高齢者の小規模農業や親からの相続土地が耕作放棄地となる可能性が高い。そのような高齢者向けの講座や指導、支援の方策を検討願います。
76	安心安全で持続可能な食と農の循環を望みます。
77	島での自給率が低すぎるので早く改善してほしい。新規就農者への補助等が悪すぎる。荷物を船だけに頼らずエアーでも飛ばさないと稼げる農家は増えない。鹿児島県自体は有機栽培で進んでいるが、島は有機のみならず農業が衰退していること受け止めて、すぐ改善して欲しい。

Q17.その他、ご意見等ございましたらご記入ください（自由意見）。

No.	自由意見
78	奄美大島では、自給自足ができるようにしたほうが良いと思います。米がもっと取れるようになると少しは安定するかもしれない。シマは孤立してしまうかもしれないから。
79	南西諸島が国内でも長寿だった1番の要因は、地元の農産物、地元の魚を中心とした伝統的な田舎料理を多くの人が食べていたことに起因すると考えられます。事実、沖縄はその食文化の欧米化により平均寿命が大きく下がっています。奄美に移住してきて感じた事は、世の中の食文化の流れに良くも悪くもあまり左右されていないというところ。集落のお母さんたちは昔ながらの料理を作り、お父さんたちはあまり新しい料理に興味を示さない。だからこそ、健康的な食生活が受け継がれてきた思います。しかしながら、昨今の観光地化により食文化の変化が見られるように感じます。安易に健康を害しやすいファストフードに志向が流れないようにするためにも、売り文句として幅が狭くなりがちな"郷土料理"だけではなく、"地元の鮮度が高くヘルシーな旬食材"を奄美の売りにし、積極的に使用したイタリアンや洋食、新しいスタイルの家庭料理が根付いていけば、地元民が健康的であること含め、観光でこの地を訪れる方にとっても良いことなのではないかと思います。
80	アタイグワァで季節毎の野菜を作ることは、実はとても豊かで健康的なことだと思います。アタイグワァのある風景も一緒に守れるといいかもしれません。世界農業遺産認定とかできないかな…
81	難しいことかとは思いますが、まだまだ課題だらけだと思います。このような取り組みが進まれていることに感謝します。応援しております
82	アンケート結果は、市のホームページで公開し、広く情報共有する必要がある。アンケートの内容について、庁内で、論点整理し、策定業務委託事業者と締結する業務委託契約書の業務仕様に明記する必要があると思う。記載された内容については、具体的な実施主体を明示するなど、実現可能な総合戦略にする必要がある。策定内容には、裏付けとなる予算額が含まれていないと思うので、総合戦略が形骸化しないように工夫が必要だと思う。
83	中学校教員です。「食」に関して、持続可能で未来が輝ける島を目指すために、学校との連携（資料やワークショップの提供など）もご検討いただければ助かります。
84	公民館講座で郷土料理に関しては、抽選がなかなか当たらない状況など地元の人も非常に関心が高いと思います。そこで使われる食材に関しても情報がわかればもっと使っていく人も多いと思います。観光との連携に関しても、飲食店で「食材に関しての物語」をつけることで、付加価値を出しているところもあると認識しています。できていることもたくさんあると思うので、そのことを再確認して、情報発信をその渦にすることで、地域の人が島の食材に関して、認識を新たにし、島の魅力を再確認することにつながり、そのことが地域に対しての愛着につながっていくものと考えます。

各質問の「その他」意見

Q5.奄美の食の魅力はどこにあると思いますか。（複数回答可）

No.	「その他」の意見
1	いろいろ
2	うまい
3	自然の豊かさ、自然からの癒し
4	治安がいい
5	地産地消・助け合い
6	その物本来の味がする。味が濃く，おいしい。
7	懐かしさ
8	生産者との距離の近さ、顔が見えること
9	他の地域では難しい国産としての価値
10	質問の意図がよくわからないが、自宅で採れたものやご近所からいただいた農産物を食べてます。「奄美の食の魅力」といわれても、、、
11	ミキが家庭・スポーツの補給食としてここ数か月よく購入している
12	東京では無い南国果物や味噌や黒糖、ミキ等美味しい
13	味
14	購入することで郷土愛を示すことができる。
15	美味しさ、滋養がある、食品の受け渡しによる人とのつながり
16	美味しさ
17	何より美味しい！
18	地元だからと言って安く手に入るわけでもないし人の手作りなだけで魅力は感じません。

Q6.奄美の農業・漁業の魅力はどこにあると思いますか。（複数回答可）

No.	「その他」の意見
1	様々
2	なし
3	災害等に強い、供給の安定性を計る
4	個人とのつながり
5	食料自給
6	生産者との距離の近さ、顔が見えること
7	この問いもよくわからない。「奄美の農業・漁業の魅力」？　生産者向けの質問？
8	美味しさ、滋養がある、農水産物の受け渡しによる人とのつながり
9	集落とのつながり
10	なし

Q7.将来にわたって、奄美の食や農業・漁業を守っていくために必要だと思うことは何ですか。
（複数回答可）

No.	「その他」の意見
1	いろいろ
2	なし
3	生産基盤（農地や水の整備）などの農家が営農がしやすい（後継者が営農したいと思える農地状態など）環境作り
4	台風など流通が止まってしまった場合にも対処対応ができる島となることをのぞみます。自給率の向上と言えば果樹のみで率を高めるのではなく主食や野菜などに対しても補助金を付けたり、家庭等でも取り組める自給自足を推進するような取り組みに期待します。
5	青果食材の長期保存
6	行政の取り組みがとても大事だと思います。「何かやってるポーズ」や予算消化の為じゃなく、しっかり予算と人員を配置して、5~10年移動の無い状況で本気で仕事させたらいいんじゃないでしょうか。
7	カリスマ
8	特に、水産物は生産量が減少していると感じており、水産資源減少が激しいからではと危惧する。水産資源減少の要因分析と対策が最も重要であり、水産資源回復は生産量増加にも繋がると考える。
9	一次産業を担う方々の所得の向上
10	グリーンツーリズム・ブルーツーリズム等の観光と組み合わせた農業・漁業体験を切り口に、後継者育成及び人材確保を行うとともに、消費者とのマッチングに取り組むこと
11	漁等をSNSなどで発信して、農業や漁業に興味を持ってもらう
12	耕作放棄地の解消を含めた十分な農地の確保
13	株式会社の参入
14	親から受け継いだ農地があっても生かせない人も多くいます。するとその土地は耕作に適さない土地になります。そういう土地を市が間に入って希望者に貸し出すなどの制度があればいいのに。
15	集落との連携
16	観光できた友人に、手軽に奄美産コーヒーを飲ませたい。奄美コーヒーを飲める店を増やして、飲める場所のマップも作るとか。数も少ないと思いますが、アピールしないのはもったいないなと思います。奄美産果物のフレッシュジュースも空港などで手軽に飲めるとよい。
17	①高齢者や小規模農業従事者への支援。②退職後の農業従事者（親の土地を相続した方々）への農業指導や支援。

Q7.将来にわたって、奄美の食や農業・漁業を守っていくために必要だと思うことは何ですか。
（複数回答可）

No.	「その他」の意見
18	島民自身が、自らの食文化の豊かさを知ること。
19	様々な面でレベルアップしないと島外に出すのは難しいのでは？
20	観光消費による経済波及効果を島内で循環させる必要がある。人口の少ない島内居住者の消費のみの依存では、経済活動が限られる。また、大消費地が遠く、輸送費用がかかる。行政機関が、農林水産物の生産者と観光業者、宿泊業者、飲食店等が連携するための情報交換の場を設けるなどして、奄美の農林水産物による新規メニューの開発や新たな加工品の開発等の付加価値向上に取り組み、観光客を含めた島内消費販路拡大に取り組む必要がある。島内の農林水産物を使用する飲食店、ホテルには、市の施策の中で優遇措置を設ける。

Q12.奄美の「食」や「自然」、あるいは「農業・漁業」と関わる学習や体験で特に印象に残っていることを一つ教えてください。

No.	「その他」の意見
1	グループ内での探究活動
2	郷土料理を食べること
3	なし
4	体験をしたことがない

Q13.あなたやご家族は、地元産の農産物・水産物をどこで購入することが多いですか。
（複数回答可）

No.	「その他」の意見
1	いろいろ
2	味の郷
3	田舎の姉・兄より
4	家庭菜園でなるべく作っている
5	身内，知り合いからもらう
6	釣り
7	イベントでの直売
8	知り合いから
9	自分で作ったり，栽培，釣り，知人等からもらう等，ほとんど購入はしていない。
10	笠利Aコープ
11	ほとんど購入しない。
12	親戚より送られて来る
13	無人販売
14	近所の方からのおすそ分け

Q13.あなたやご家族は、地元産の農産物・水産物をどこで購入することが多いですか。
（複数回答可）

No.	「その他」の意見
15	地元産の野菜は自ら栽培し、魚は自ら採取している。
16	宝勢丸
17	魚釣りを通して水産物は自給している
18	貰っている
19	農業をしている親族より
20	近所の方からのおすそ分け
21	自宅で野菜を作っている
22	刺身屋
23	釣り
24	自家栽培
25	自分でも栽培してる
26	家族や知り合い(農家、漁師以外)
27	買わない　家庭菜園、釣り
28	魚は釣ってくる。夏は夏野菜を家庭菜園で作ってます。
29	郵便局の売り場
30	自家栽培
31	看護師さん
32	お土産屋さん

Q15.奄美市の農業・漁業や食文化について特に課題と思うことを一つお答えください。

No.	「その他」の意見
1	いっぱい
2	農業，漁業で生計を立てられるかがよく分からない。
3	島民自身がブランド化（価格上昇）について割り切れていないこと
4	おいしさを自信をもって，家族に伝える。
5	奄美市在住でないためわからない
6	流通の方法
7	今後、島民が島内で生き延びていくための食料自給率をどう高めるか、という視点が見られない。例えば、南海トラフ地震等、大規模災害で本土との交通が長期間ストップした場合、どうなるんだろう？
8	【食文化】食文化の変化により、料理する人が島の食材の必要性を感じられなくなってきているところ【農業・漁業】収穫したままの一次産品としてしか扱わず、高付加価値化への意欲が見られないところ

Q15.奄美市の農業・漁業や食文化について特に課題と思うことを一つお答えください。

No.	「その他」の意見
9	地場産野菜は新鮮・安全のイメージが有るが，実際の店頭での鮮度がイマイチだったりすることも。
10	ブランド化が不十分
11	収入や働く環境の改善。
12	空港のお土産屋さん見ていてもそうですが，パッケージに目を引くものが少ないと思います。注目を浴びるようなマーケティングができたらな～と思います。。
13	地場産の食材が島民の台所および食卓に届かない。
14	あまり美味しくない
15	１０年前に比べると島内で流通しているシマの農水産物・食品は減少し、それに伴いシマの食品を食する機会も減少したと感じる。特に水産物（ウニ、貝類）は減少著しく、この資源減少の要因を分析し回復する取組を進めていくことが最も重要であると考える。
16	課題は一つではなく，複合的に絡みあっている。例えば，農地集約が困難。魚種が本土向けではない。そのことが，農家や漁業者収入が低さに繋がり，担い手不足につながっている。
17	国の政策
18	自然との共生を重視した農業・漁業　　農業は耕作放棄地を市や役場が買い取って自然農法⊠菌ちゃん農法を推進して欲しい。無闇に農薬を使えば土壌もそこで育つ作物もそこから大地をつたって川も海も汚染されてしまう。巡りめぐって人間も皆んな汚染されて病気への抵抗力がなくなって精神疾患も増えると思います。海外からの輸入品は日本への輸出用に農薬汚染・遺伝子操作されたものが入ってきてると聞きます。自然に囲まれた島だからこそミネラルたっぷりの土壌で作物を作って地産地消できると思います。市営の農場をつくって、そこで働く人は市の職員として作物を育てる。希望者には1区画レンタルで初心者でも農業体験が出来る（お世話できない日は職員がサポート）育った作物は地元八百屋や市役所で販売しても良いし、子供食堂や保育所、学校給食に使う。そんな自然との共生を望みます。
19	果物を使った菓子土産の種類がもう少しあるといいなと思います
20	加工施設、働く人、技術力
21	手に取りたいと思えるような工夫。